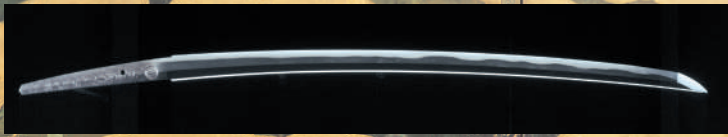


刀銘(三葉葵紋)

以南蛮鉄於武州江戸越前康継(高原家蔵)

徳川家康お抱えの刀工康継の作品。康継は家康の命を受け、大坂の陣で焼損した豊臣家の名刀を搜索し、それを再刃したことで知られる。



きんぎんぞうがんなんばんかぶと

金銀象嵌南蛮兜(大阪城天守閣蔵)

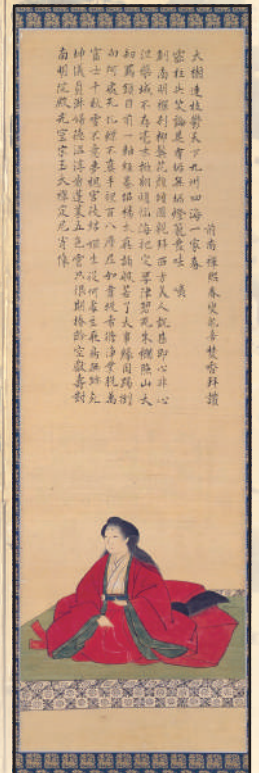
家康が、秀吉子飼いの武将加藤嘉明に与えたとされる兜。西洋人の帽子を模したとも見させるが、表面に施された象嵌細工にはアジア的な要素もある。



旭姫画像

(南明院蔵)

秀吉の妹旭姫の画像。小牧合戦の終結後、家康を服属させる政治的駆け引きのすえに、秀吉は彼女を家康の正室として三河へ送った。



【背景】洛中洛外図屏風 左隻(個人蔵) 家康最晩年の頃の京都周辺を描いた絵図で、京都における徳川家の居城、二条城がみえる。



大阪市文化財協会

中世人の祈り ~ 浪速東遺跡の柿経一把 ~

浪速区浪速東遺跡から中世の柿経(13~15世紀頃)20枚が出土しました。柿は細長い板のことで、その両面に「仏説阿彌陀経」を写経しています。写経は仏教の普及と教義の理解のために始まりましたが、平安時代以降は功德やご利益を求めて行うようになり、中世には紙だけでなく柿にも書経するようになります。柿は

塔を象ったものが多く、写経とともに造塔の功德も期待されたからです。大部の経典を大人数で分担して書写するため、柿20枚を1把とし4把程度を一人で分担したようです。細い柿に端整に記された墨跡からは、功德を願う中世人の祈りが感じられるようです。

大阪市文化財協会 学芸員 高橋 工



浪速区浪速東遺跡の柿経 (全長約26cm 幅1.3cm)

※今回紹介した資料は、10月4日(水)~1月8日(祝)、大阪歴史博物館で開催の特集展示「なにわの考古学2023」にて展示します。
開館時間/9:30から17:00まで ※入館は閉館の30分前まで。休館日/火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月28日~1月4日)
最新情報はホームページにてご確認ください。

住所 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-6-41 TEL 06-6943-6833 FAX 06-6920-2272
ホームページ 大阪市文化財協会: <https://www.occpa.or.jp/> 大阪歴史博物館: <https://www.mus-his.city.osaka.jp/>
アクセス 大阪歴史博物館: ●Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・⑨号出口 ●大阪シティバス「馬場町」バス停前

大阪市立の博物館・美術館・動物園 **Osaka Museums** <https://museums.ocm.osaka>

- 大阪歴史博物館
- 大阪城天守閣
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪市立美術館
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪市文化財協会
- 大阪市立科学館
- 天王寺動物園
- 大阪中之島美術館
- 大阪くらしの今昔館